



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

資料6

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム の準備状況について

平成28年3月30日

文部科学省



「改革2020」プロジェクト6：対日直接投資拡大に向けた誘致方策

我が国に対する国際的な注目度が高まる2020年に向けて、対内直接投資の拡大に重点的に取り組む。成長戦略に盛り込まれた施策推進を通じたビジネス環境等改善・向上の成果を積極的に発信し、地方自治体等との連携の下、投資案件の発掘・誘致活動等に戦略的に取り組む。

2016年

リオデジャネイロ
オリンピック・
パラリンピック

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム
(2016年10月、京都・東京)

○世界経済フォーラムと連携

2020年

東京オリンピック・パラリンピック競技大会
対内直接投資残高倍増目標(35兆円)

2019年

ラグビーワールドカップ
(国内12都市)

Japan Business Conference
(2020年、東京)

- 外国企業CEOを招へい
- 関係閣僚等が歓待
- 投資環境を発信

Regional Business Conference
(2019～2020年、地方自治体)

- 外国企業誘致に積極的な地方自治体及び地方経済産業局が連携

グローバルベンチャーサミット
(2020年、東京)

- 各国政府首脳や国際レベルのベンチャー関係者を招へい

国: トップセールス、JETROの機能強化
自治体: 国及びJETROと連携した誘致活動

- ・「シリコンバレーと日本の架け橋プロジェクト」
- ・グローバルベンチャー創出のための大学改革

ビジネス環境の改善・向上
取組成果の積極的な発信

スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの目的

2020年以降のあるべき
日本の姿

日本の伝統的価値に基づくリーダーシップ
によりアジア・世界の絆を強める

2020年前後で
実現したい目標

A Confidence (知徳体)



- スポーツ・文化をする・観る・支える社会の実現
- それらを通じた個人・国に対する誇り・自信の深まり

B Connectivity (人的交流)



- 海外との人的交流の機会と交流体験の質の向上
- 日本に対する海外からの信頼の強化

C Co-Evolution (新しい経済・文化)



- スポーツ・文化・人的交流を支える経済・文化の実現
- 新しいフロンティアとして海外からの興味・期待

フォーラムを通じて
広がる機運

- アジア・世界の相互理解と多様性の融和に貢献できる国としての日本の自信・意欲
- 世界の人々の間における共に絆を深めていくことへの期待・共感

A 知徳体の向上

日本の人々を元気にし、各国に示唆を与える**具体的な取り組みの議論**

- スポーツの普及と文化芸術の促進
- スポーツ・文化活動への民間の支援推進 など

B 人的交流の促進

人材交流の質・量と海外での日本人の存在感の向上へ向けた**きっかけ作り**

- スポーツを通じた国際協力
- 海外で活躍できるトップアスリート・アーティストの育成 など

C 新しい経済・文化の創発

促進する新しい経済・文化のあり方と実現へ向けた**具体的な施策の議論**

- スポーツGDP、文化GDPの成長
- 訪日観光客の増加・滞在体験向上
- シェアリングエコノミーの推進 など

2016年
フォーラム
の目的

- 「**A** 知徳体の向上」、「**B** 人的交流の促進」、「**C** 新しい経済・文化の創発」への新たな可能性と必要な施策について、日本を新しいパラダイムの事例としてアジア・世界の人々が体感・議論する
- その結果、誰もが直面している困難を乗り越える原動力へと変える、始めの一步を共に踏み出す

スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの概要

1. 目的

- スポーツ・文化を通じた「知徳体の向上」、「人的交流の促進」、「新しい経済・文化の創発」への新たな可能性と必要な施策について、日本を新しいパラダイムの事例としてアジア・世界の人々が体感・議論し、誰もが直面している困難を乗り越える原動力へと変える、始めの一步を共に踏み出す。

2. 開催趣旨

- ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスターズゲームズ2021等に向けて、観光とも連動させつつ、スポーツや文化による国際貢献や有形・無形のレガシー等について議論、情報発信し、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを国際的に高めるためのキックオフイベントとしての国際会議を、2016年リオ大会直後の秋に、京都と東京で開催。

3. 主催

- 文部科学省を中心に、京都府・京都市、関係府省、経済団体、地方公共団体等の協力を得ながら、日本政府が主催。世界経済フォーラムとも連携。

4. 参加者

- 国内外のスポーツや文化を担当する大臣や国際的な振興団体のトップ
- グローバル企業の経営トップや世界経済フォーラムYGL、著名研究者および国内外主要経済メディア等

5. 開催時期・場所

2016年10月19日（水）～20日（木）：京都（ロームシアター京都等）
10月20日（木）～22日（土）：東京（六本木ヒルズ等）

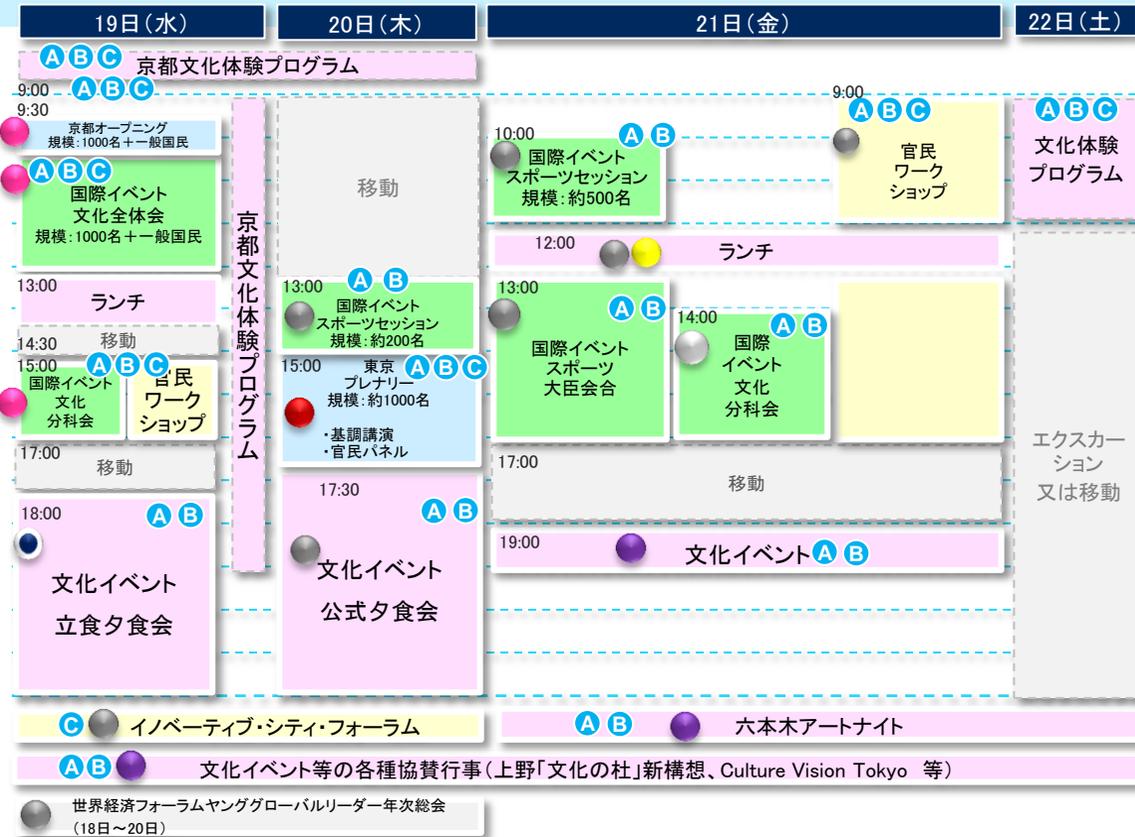
6. 会議内容・ テーマ（案）

- (1) 東京プレナリー・基調講演
バッハ・I O C会長、クレイブン・I P C会長、シュワブ・世界経済フォーラム会長 等
- (2) 国際イベント（例）
 - ①スポーツ・フォー・トゥモロー(各国スポーツ担当大臣会合の開催)
 - ②2019年ラグビーワールドカップ（ラグビーワールドカップ関連会議の開催）
 - ③障害者とスポーツ・文化（パラリンピック、障害者の芸術活動等に係る国際シンポジウムの開催）
 - ④2020年に向けた文化プログラム（国際シンポジウムの開催） 等
- (3) 官民ワークショップ
世界経済フォーラムや民間団体等と連携して、2020年前後で実現したい目標に向けて官民で課題認識を共有し、連携して推進・実施していくべき取組を議論し、施策案を提言

7. 文化イベント・ 公式夕食会

- 歌舞伎、能、音楽、舞踊等のパフォーマンス（京都では世界遺産である二条城を活用）
- 六本木アートナイト等との連携、オリンピック・パラリンピアン等のアスリートが参加したイベント
- 公式夕食会

スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの日程及び会場候補



- 国際イベント
- 官民ワークショップ
- 文化イベント
- 文化・スポーツの振興・発信
- 人材交流
- 経済発展

会議

- ● 六本木ヒルズ
 - スポーツセッション(21日)
スポーツ大臣会合
グランドハイアット東京 3Fグランドボールルーム
■収容人数:シアター形式 904名
 - スポーツセッション(20日)
グランドハイアット東京2Fコリアンダー
■収容人数:シアター形式 224名
 - 官民ワークショップ
アカデミーヒルズ
タワーホールA、B、オーデトリウム 他
■収容人数:スクール形式 100名 他
- ● 国立新美術館
 - 文化分科会
講堂
■収容人数:200名
※分科会と連動した展示も開催(21日～23日)

ランチ

- ● 六本木ヒルズ
グランドハイアット東京
2F&3Fホワイエ
■収容人数:立食 1,000名

メディアセンター、ア kreditation ション、各種諸室

- ● 六本木ヒルズ
グランドハイアット東京
レジデンスパズル/レジデンスアニス 他
■面積:75～190㎡

京都会場

- ● ロームシアター京都
メインホール
■収容人数:2,005名
サウスホール
■収容人数:716名
ノースホール
■収容人数:約200名
- ● 文化イベント(京都)
- ● 二条城など歴史的施設での実施を検討

プレナリー

- ● 六本木ヒルズ
シアター形式で計1,128名
グランドハイアット東京
3Fグランドボールルーム
■収容人数:シアター形式 904名
- ● サテライト会場(スクリーン上映)として3Fタラゴン
■収容人数:シアター形式 224名

文化イベント

- ● 森美術館
- ● サントリー美術館
- ● 国立新美術館
- ● 上野
- ● 東急文化村(渋谷)
- ● 六本木ヒルズアリーナ

世界経済フォーラムとの連携について

連絡調整会議

日本政府、経済団体、地方公共団体

世界経済フォーラム、ダボス関連企業

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム

(文科省を中心に日本政府が主体となって経済界、地方公共団体と連携して開催)

国際イベント

- スポーツ・フォー・トゥモロー(各国スポーツ担当大臣会合の開催)
- 2019年ラグビーワールドカップ(ラグビーワールドカップ関連会議の開催)
- 障害者とスポーツ・文化
(パラリンピック、障害者の芸術活動等に係る国際シンポジウムの開催)
- 2020年に向けたプログラム(国際シンポジウムの開催)等

官民ワークショップ

- 世界経済フォーラムや民間団体等と連携して、2020年前後で実現したい目標に向けて官民で課題認識を共有し、連携して推進・実施していくべき取組を議論し、施策案を提言

文化イベント

- 世界遺産である神社・仏閣等を舞台に、世界のトップアーティストと日本のトップアーティストのコラボレーションによる各国の伝統文化が融合した斬新なパフォーマンスの披露など、新たな芸術の発信

スポーツ・文化関係の連携

ダボス若手メンバーの会議 (世界経済フォーラムが開催)

- (想定する参加者)
- ダボス関連企業経営者
 - ヤング・グローバル・リーダーズ (YGL)

← アーティスト等の人材・ノウハウの提供

← ディスカッションテーマの提案・
ジョイントプログラムの開催

➡ 世界経済フォーラムと連携して実施する官民ワークショップ等における議論の成果を「改革2020プロジェクト」をはじめとする政府の成長戦略に反映する等、政府の施策との連携を図る。

世界経済フォーラム（WEF）ジョイントプログラム 官民ワークショップイメージ

出席者 WEFに参画している海外の大企業CEO100名と40代CEO200名の最大約300名の海外企業トップを招待予定。その他、大学教授等の国内外の有識者の参加も想定。国内企業経営者300名を加え、総勢約600名。

アウトプット WEFをはじめとした民間団体等や経済産業省、観光庁等の他府省庁と連携し、2020年等に向けた取組を官民で議論、施策案を提言。海外も含めたメディアとも連携し、広く成果を共有。

10月21日(金)	Tower Hall B	Sky Studio	Tower Hall A	Conference Room 1+2	Conference Room 6
9:00~10:15	ジョイントセッション Reinventing the Urban Xperience (都市経験の再生) City	ジョイントセッション Designing for the User-Centric Era (消費者中心型時代のデザインについて) Economy	政府リードセッション 都市と空間をデザインするイノベーション City	政府リードセッション 健康長寿社会を実現するためのSmart Wellness Community Society	政府リードセッション テクノロジーの進化と最先端エンタテインメント Communication
休憩(30分)					
10:45~11:45	ジョイントセッション Future of Creativity Inc. (クリエイティビティ性の高い企業の今後について) Economy	ジョイントセッション The Big Data - Health Nexus (ビッグデータ 健康関連) Human	政府リードセッション 身体拡張 ~スポーツ・文化・テクノロジーの融合がもたらす未来~ Human	政府リードセッション アートによるまちづくり 文化振興による地方創生を目指す City	政府リードセッション 最先端技術による、最も安全なオリンピック実現の提案 Communication
ランチ(1時間)					
12:45~13:45	ジョイントセッション "Gamification" for Social Value (社会的価値としての“ゲーミフィケーション”) Society	ジョイントセッション The Millennial Consumer (ミレニアル世代の消費者) Human	政府リードセッション アーティストがといかける、新たな価値観 Human	政府リードセッション 日本の文化が世界に伝える「おもてなし」のこころ Communication	政府リードセッション Inclusion Creates Business? ~ダイバーシティから新消費モデルを考える~ Economy
休憩(30分)					
14:15~15:15	ジョイントセッション Financing Social Innovation (社会的改革金融について) Society Economy	ジョイントセッション The Sharing Economic Impact (シェアリング・エコノミーの影響について) Communication	政府リードセッション スポーツとテクノロジー ビッグデータ、AI、ウェアラブル、素材ファッション Economy	政府リードセッション Sport and Well-being. スポーツを通じて得られる効果・効用 Communication	政府リードセッション 先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現~身体的弱者・高齢者QOLを向上するテクノロジーとは~ Human
休憩(30分)					
15:45~17:00	ジョイントセッション The Creativity Advantage (創造力の優位性) Human	ジョイントセッション The Next Education Milestone (次世代教育の転換期) Human	政府リードセッション インバウンド観光と医療 Economy	政府リードセッション ファッションで体現するダイバーシティ Human	政府リードセッション 現代アートとアートマーケット Economy

直近の準備状況

1. 世界経済フォーラム（WEF）との連携状況

- (1) 12月3日 連絡調整会議
馳文部科学大臣、世耕内閣官房副長官、世界経済フォーラム責任者等が連絡調整会議において、WEFとの具体的な連携について、意見交換を実施。
- (2) 2月20日～22日 WEF準備チームのサイトビジット
WEFとのジョイントプログラムを行う会場（六本木ヒルズ・森タワー49階 アカデミーヒルズ）をWEF準備チームとともに視察。
参加者の相互連携や使用会場等今後の連携方法について、3日間かけて議論・調整を実施。
- (3) 3月2日 覚書（Letter Agreement）の締結
WEFと文部科学省にて覚書を締結。主な内容は以下のとおり。

- ・ヤング・グローバル・リーダーズの年次総会を10月に日本において開催する
- ・官民ワークショップに、WEFに参画している海外企業のトップ約100名の参加を促す
- ・官民ワークショップにおいて、WEFによるジョイントセッションを最大9つ実施する

2. 民間企業の参画状況

- ・スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの官民協働実行委員会参画企業を中心に、11月中旬より、ともに本フォーラムを成功に導く「パートナー」としての参画を依頼（資金面での協力依頼を含む）。
- ・約20社程度の民間企業から資金協力を得る見込み。
※官民ワークショップの政府リードセッションについては、資金協力を頂く主な民間企業とともに実施予定。
- ・竹中主査にも御出席いただき、3月10日にパートナー企業を対象とした官民ワークショップガイダンスを実施。